

文部科学省委託事業

新時代に対応した高等学校改革推進事業 (普通科改革支援事業)

第3年次 実施報告書



令和7年3月

長崎県立松浦高等学校

(巻頭言)

新しい普通科としての生徒の学び・教員の学び

長崎県立松浦高等学校 校長 舟越 裕

1. 昨年度からの課題について

3年間に及ぶ研究指定事業が終了します。まずは、関係者の皆様にお礼を申し上げます。過去2年の巻頭言では、各年次の取組における課題と、その改善方策(案)を示してきました。昨年度の冊子では、①中学校や地域への説明不足による生徒募集の苦戦、②「地域科学科とは何か」という点についての目線合わせが十分にできていない、という2つの課題を挙げていました。ここでは、3年目の取組の中で、どう取り組んできたか紹介しておきます。

①については、「まつナビ・プロジェクト」において、生徒たちの研究が評価されて長崎県のビジネスコンテストに出場したことをはじめ、質の高い研究が行われた結果、地域からの認知も進み、2年連続で本校への志願者増という結果となりました。また、地域への周知という点では、松浦市小・中学校長会への参加や中学校での単独の学校説明会の開催など、本事業の1年目から本校に勤務する中高連携・地域連携担当のコーディネーターの貢献が大きかったと言えます。

②については、従来から設置していた教員の「活性化ミーティング」の中で、年間指導計画の見直し、ルーブリックの改善等で、教員が主体性を発揮する場面が増え、目線合わせも進んできました。また、「探究」活動に対する教員の伴走支援については、長崎大学藤井佑介准教授、長崎県立大学バロリ・ブレンディ講師及び研究室の学生、産業能率大学杉田一真教授をはじめとした**大学の方々、そして数多くの地域の方々に支援**をいただきました。さらに、「活性化ミーティング」には今年度採用のコーディネーターも参画し、生徒の支援に加えて教員の探究活動へのサポートでも大きな役割を果たしていただきました。

2. 本事業終了後について

(1) コーディネーターの雇用について

課題克服に向けた取組において、本校では**コーディネーターが大きな役割を果たしています**。コーディネーターの育成・活用・雇用の継続については、文部科学省も本事業の柱の1つとして掲げています。本校で勤務している上記2名のコーディネーターについては、本事業終了後も1名は松浦市の「松浦高校支援事業」で、もう1名は総務省の「地域力創造アドバイザー事業」の活用によって雇用を継続することが内定しており、コーディネーターの定着の在り方の好事例になると考えています。さらに、コーディネーターが学校と大学や地域の人材とを結び付けるハブ人材として、うまく回り始めたという実感を強く持っています。

(2) コンソーシアムの維持・発展

コンソーシアムは「地域との協働による高等学校教育改革推進事業」の研究指定を受けた令和2年度から構築されており、本研究指定事業でもカリキュラム開発や地域連携の在り方について数多くの助言をいただき研究開発の推進に大きく貢献いただきました。また、**令和7年度から実施する学校設定科目「松浦学」**の開講に向けて、昨年度から「地域素材を活用した授業づくり」に取り組んでおり、こちらについてもコンソーシアムの構成メンバーである長崎大学教育学部を中心に支援していただいています。

このように、本校にとって欠かすことのできない組織であり、次年度以降はこのコンソーシアムを軸に、**コミュニティ・スクールとしてより地域に開かれた学校として再スタート**を切る予定です。これまで受けてきた様々な支援をベースに、本校地域科学科の取組を一層充実させていきたいと考えています。引き続き、ご支援のほど、よろしくお願いいたします。

＝新時代に対応した高等学校改革推進事業（普通科改革支援事業）目次＝

巻頭言

第1章 事業の概要

1 本校の概要	1
1－1 所在地	1
1－2 設定課程および在籍生徒数	1
1－3 学校経営方針	1
1－4 令和6年度グランドデザイン	4
2 事業構想（ビジュアル資料）	5
3 令和6年度実施計画の概要	6
3－1 3カ年の実施計画の概要	6
3－2 令和6年度の計画の内容	7
3－3 事業の進捗状況の定期的な確認や改善計画	9
3－4 成果の普及のための計画	10
3－5 管理機関の役割と実施計画	10
4 先進的な教育の取組の概要	12
5 地域科学科	13
5－1 設置の目的	13
5－2 令和6年度における活動の重点項目	15
5－3 先進的な教育の取組～まっナビ・プロジェクト～	17

第2章 事業の内容（実施計画Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ）

1 実施計画Ⅰ	19
1－1 活動目標	19
1－2 実施計画	19
1－3 1年生の活動実績	19
1－4 2年生の活動実績	23
1－5 3年生の活動実績	30
1－6 地域素材を活用した授業実践	32
1－7 自己評価	34
1－8 松浦高校における事業の管理	37

1-9	3年間の総括【実施計画Ⅰ】	38
-----	---------------	----

2	実施計画Ⅱ	39
2-1	活動目標	39
2-2	実施計画	39
2-3	運営指導委員会	39
2-4	コンソーシアム会議	40
2-5	学校外の組織等との協働	42
2-6	まつナビ支援金制度	43
2-7	コーディネーターの活動とその成果と課題	46
2-8	新学科設置の関係者への説明及び成果普及のための活動実績	50
2-9	国の指定終了後の取組継続のための仕組みづくりに関する取組	51
2-10	他の事業との関係	52
2-11	3年間の総括【実施計画Ⅱ】	53

3	実施計画Ⅲ	54
3-1	活動目標	54
3-2	実施計画	54
3-3	活動内容	54
3-4	3年間の総括【実施計画Ⅲ】	59

第3章 管理機関の役割

1-1	管理機関による活動実績	60
1-2	管理機関における事業全体の成果検証、評価	61

第4章 事業検証

1-1	今年度と3年間の目標設定についての検証	64
1-2	今年度の成果と課題	80

第5章 新時代に対応した普通科改革の継続に向けて

参考資料	86
------	----

第1章 事業の概要

1. 本校の概要

1-1 所在地

〒859-4501 長崎県松浦市志佐町浦免738-1

1-2 設定課程および在籍生徒数（令和7年3月1日現在）

	1年	2年	3年	計
地域科学科	45	36	26	107
商業科	24	25	22	71
合 計	69	61	48	178

1-3 学校経営方針

1 校訓

「自己開拓」に全力を注ごう
正しい人間関係をきずいていこう
よき市民性を身につけよう

2 スクールミッション（教育方針）

<どのような生徒を育成するのか：社会的役割>

- (1) 校訓「自己開拓」の精神のもと、基礎学力を高め、主体的に考え粘り強く行動できる人材を育成します。
- (2) 持続可能な地域や社会の担い手として、豊かな人間性や協働性を備えた人材を育成します。

<どのような教育を目指すのか：教育理念>

- (1) 不断の授業改善に基づき、学力をはじめとする生徒一人ひとりの多様な資質・能力の育成を目指します。
- (2) 生徒一人ひとりの進路実現を図るため、地域・大学等との協働による探究的な学びや、部活動をはじめとする様々な活動を通して、キャリア形成力や人間力を高める教育を目指します。

<学校の特色、強み、魅力（独自の教育）等：今後の方向性>

- (1) 松浦市唯一の高等学校として、地域社会のニーズや生徒一人ひとりの進路希望に応えられる多様な教育活動の展開を図ります。
- (2) 文部科学省研究指定事業の成果を生かし、地域・大学等との協働や県内外の高校との連携による探究的な学びの一層の充実を図ります。

3 スクールポリシー

＜育成を目指す資質・能力に関する方針（グラデュエーションポリシー）＞

- （１）将来の目標を持ち、その実現に向けて主体的に努力を続ける人間を育成します。
（キャリア形成力）
- （２）社会の一員としての責任感を持ち、相手を思いやることができるなど、品性を備えた人間を育成します。（責任言動力）
- （３）地域や社会の課題解決や発展に貢献しようという意欲を持つ人間を育成します。
（ふるさと貢献力）

＜教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラムポリシー・学びの方針）＞

- （１）将来の目標を実現させるため、「主体的・対話的で深い学び」につながる授業改善及び ICT の積極的な利活用を推進します。
- （２）これからの社会を生き抜くために必要な課題解決能力や協働性、ふるさとを大切にする姿勢などを育成するため、地域の企業や大学等と連携・協働しながら「まつナビ・プロジェクト」や授業での探究学習の充実を図ります。
- （３）「ルーブリック」や「ポートフォリオ」を活用した学習活動の振り返り等を通じて、自己調整力やキャリア形成力の育成を図ります。

＜入学者受け入れに関する方針（アドミッションポリシー・求める生徒像）＞

- （１）高い志や将来の目標を持ち、その実現に向けて取り組もうという意欲が高い生徒を募集します。
- （２）高校生活（学習、部活動、学校行事等）に積極的に取り組み、他者と協力して行動しようという意欲が高い生徒を募集します。
- （３）地域や社会の課題解決に貢献したいという意欲が高い生徒を募集します。

4 重点目標

（１）学びあう学校づくり（授業の充実・進路希望の実現）

- ①各教科において、「主体的・対話的で深い学び」を実現させ、学習の基礎基本となる知識・理解の徹底を図るとともに、論理的思考力、コミュニケーション力、ICT利活用を育成する。
- ②ルーブリックやポートフォリオ等を積極的に活用しながら観点別評価の充実に取り組み、生徒の資質・能力を多面的に評価することで、生徒が主体的に学びに向かう姿勢を育成する。
- ③入試情報や検定や就職に関する情報の収集・分析・発信に取り組み、生徒が自らのキャリアを主体的に考えることができるように支援する。

（２）支えあう学校づくり（生徒指導の充実と教育相談の推進）

- ①生徒の人権に配慮し、支援や配慮が必要な生徒には柔軟に対応し、全教職員で情報共有

を図るとともに、関係機関と速やかに連携をとりながら支援・指導にあたる。

- ②自他の命、健康・安全を守ることを最優先とし、社会の一員としての責任感を持たせ、相手への思いやりのある言動を心がけさせるなど、品性を備えた人間を育成する。

(3) 伸ばしあう学校づくり（多様性を認めあい、人間性を育む教育活動の推進）

- ①すべての学校教育活動を通して、生徒の主体性、積極性、協働性を養う。
- ②各教育活動の目標を明確にした上で、生徒自身が目標実現に向けたプロセスを自己評価し、自らの成長を実感することができるよう支援・指導にあたる。

(4) 「まっナビ・プロジェクト」(生徒の「資質・能力」の育成)の充実

- ①地域・大学・中学校等と連携して「まっナビ・プロジェクト」の充実を図り、未来の地域社会の担い手となる人間を育成する。
- ②生徒の「自分事」としての課題研究活動と各教育活動の連携を図り、課題解決能力をはじめとする多様な資質・能力を育成し、生徒のキャリア形成を図る。
- ③普通科改革の先駆的な取り組みを県内外に発信し、「地域に根ざした高等学校」のネットワークの構築を進めるための体制・運営の研究を進める。

(5) 中学校・地域社会・保護者との連携

- ①学校ホームページ、学校だより、SNS、保護者へのメール配信などを通じて、学校から最新情報を発信し、本校への理解を促進する。
- ②学校説明会、オープンスクール、情報発信等の広報体制の改善を図り、生徒募集活動の充実によって志願者の増加を図る。

(6) 教職員の「ワーク・ライフ・バランス」の推進

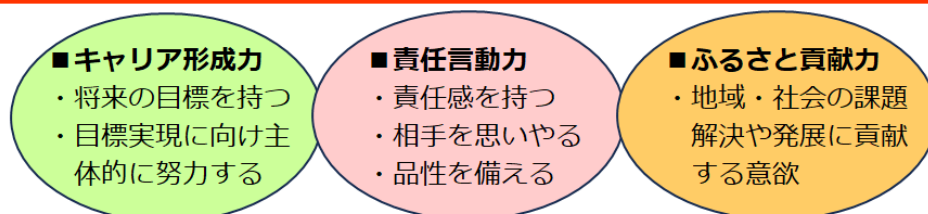
- ①教員間の協働性を高め、持続的な教育活動が展開できる職場環境づくりを推進する。

1-4 令和6年度グランドデザイン

令和6年度の松浦高校のグランドデザインは以下のとおりである。将来の目標を持ち、その実現に向けて主体的に努力を続ける人間になるための「キャリア形成力」、社会の一員としての責任感を持ち、相手を思いやることができるなど、品性を備えた人間になるための「責任言動力」、地域や社会の課題解決や発展に貢献しようとする意欲を持つ人間になるための「ふるさと貢献力」といった力を身に付けた生徒を育てる。この実現のために、キャリア形成につながる学びの充実を図り、生徒一人ひとりの進路実現をかなえていく。

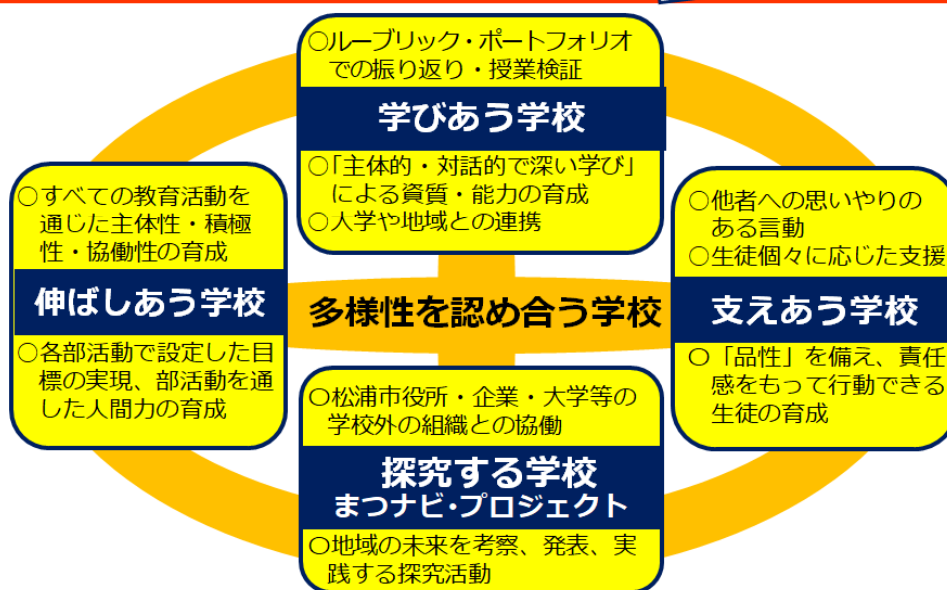
～未来の地域イノベーション人財の育成～ 令和6年度 松浦高校グランドデザイン

このような力を身に付けた生徒を育てます



キャリア形成につながる多様な学び

普通科改革による学びの充実



松浦市からの支援による学びの充実

補習・模擬試験・英検・商業検定補助、航路代・部活動強化・まっナビ支援等

一人一人の志望に応じた進路実現

- 地域科学科**
 国公立大学・私立大学・専門学校への進学、公務員、民間企業への就職
- 商業科**
 国公立大学・私立大学（**商業科枠での進学可能!**）、専門学校への進学、民間企業への就職

2. 事業構想（ビジュアル資料）

松浦高校における本事業の構想は以下のとおりである。



3. 令和6年度実施計画の概要

3-1 3ヶ年の実施計画の概要

地域科学科（地域社会学科）における令和4～6年度の実組の実効性を高めるため、取組の目的・目標及び教育活動を通じて生徒が獲得することを目指す「資質・能力」を踏まえ、次のⅠ～Ⅲの実施計画及び各年度における実施計画を策定。

（1）実施計画

- Ⅰ 育成を目指す「資質・能力」に基づき、教科等を横断する学びを含む、生徒の自己有能感を高める教育活動と学習評価を一体的に行うカリキュラムの研究開発
- Ⅱ コンソーシアムを中心とした、中学校と高等学校の学びの連携・交流及び高等学校と大学・企業等の連携による、SDGsを踏まえた地域課題解決型探究活動及びキャリア形成力の涵養活動を組織的に支援する体制の構築・運営の充実
- Ⅲ 県内外の「地域に根ざした高等学校」のネットワークの構築と、地域・学校活性化を目標とした学びを進める体制・運営の研究開発

（2）各年度における実施計画

○令和4年度

- 計画Ⅰ 各教育活動ルーブリック評価規準作成・実践・改善
- 計画Ⅱ 中高・高大職連携の推進とその効果等の検証に基づく連携・協力体制の在り方を含む改善
- 計画Ⅲ 「地域高校」ネットワークの構築・交流の開始

○令和5年度

- 計画Ⅰ 生徒のキャリアプランの作成状況を踏まえたルーブリック評価規準の検証・改善及び各教育活動への反映
- 計画Ⅱ 令和4年度の検証等を踏まえた支援体制の充実と生徒の探究活動等への支援の検証・改善
- 計画Ⅲ 「地域高校」ネットワーク参加校における生徒間の協働活動の推進、教員間の情報共有

○令和6年度

- 計画Ⅰ 地域科学科1回生のキャリアプランの実現に向けたプロセスの検証等による総括、次年度以降の計画策定
- 計画Ⅱ 地域・学校活性化に向けた、3年間の生徒支援の検証等による総括、次年度以降の計画策定
- 計画Ⅲ 「地域高校」ネットワークの3年間の取組の検証等による総括、次年度以降の計画策定

3-2 令和6年度の計画の内容

月	事業の内容	
	カリキュラムや教育方法等の開発	関係機関等との連携・協力体制の構築
4月	○資質・能力を身に付けさせるためのルーブリック評価規準やポートフォリオ活用に関する生徒への説明・運用開始(全体) ○外部機関のアセスメント・レディネス調査実施(全体) ○地域素材を活用した授業計画の作成 →教科横断型授業、各教科の学習内容と探究活動とを往還する学習 ○職員研修(全体) ○進路別探究活動のテーマ設定(3年) ○班別探究活動の本格化(2年) ○中学校の活動の振り返り(1年)	○ルーブリック・ポートフォリオの活用 →学びアドバイザーとのルーブリックの確認 ○外部機関のアセスメント →管理機関との結果の共有 ○職員研修(ルーブリック等、外部機関のアセスメント、地域素材を活用した授業づくり) →大学及び管理機関からの指導・助言
5月	○進路別探究活動の継続(～3年7月) ○班別探究活動の継続(2年) →課題分析・解決能力の育成 ○探究スキル(課題発見)育成講座、地域の魅力について知るための松浦未来講演会の実施(1年) →探究スキル、ふるさと貢献力	○2年探究活動→コンソーシアムを通じて大学及び地域人材等に支援依頼 ○探究スキル育成講座 →大学との連携、外部講師招聘 ○松浦未来講演会 →松浦市役所・まつうら高校応援団加盟各事業所との連携
6月	○コンソーシアム会議・運営指導委員会 →職員へのフィードバック ○班別探究活動の継続・中間発表準備(2年) →課題分析・解決能力、プレゼン力 ○「Matsuura 仕事図鑑」作成(1年) →ふるさと貢献力、必要なスキル育成	○コンソーシアム会議・運営指導委員会 →研究開発及び事業推進体制への指導助言 ○班別課題研究 →長崎大学生や長崎県立大学生・外部審査委員・地域等の人材からのフィードバックによる研究 ○仕事図鑑 →地域の人材活用
7月	○「地域高校」との連携・協働研究ミーティング(全体) ○進路別探究活動のまとめ(3年) ○中間発表会(2年) →課題分析・解決能力・プレゼン力 ○フィールドワーク(2年)及び仕事図鑑インタビュー(1年) →ふるさと貢献力	○「地域高校」との連携 →外部機関及び連携高校とのミーティング内容の調整 ○中間報告会 →大学生・外部審査委員・地域等の人材からのフィードバック ○フィールドワーク、仕事図鑑作成のためのインタビューの支援 →コンソーシアム等との連携
8月	○個人・班別の取組のとりまとめ	○必要に応じて外部諸事業所と連携

9月	○進路別探究活動のまとめ（3年） ○フィールドワークの成果を生かした班別探究の継続（2年） →課題分析・解決能力 ○仕事図鑑報告会（1年） →資料作成力、プレゼン力	○仕事図鑑報告会 →インタビュー対象者の招待
10月	○進路別課題研究論文作成（～12月） ○課題研究発表会準備（2年） →課題分析・解決力・プレゼン力 ○研究テーマ設定及び研究活動構想（1年） →自ら学び行動する力 ○地域の伝統芸能見学（1年） →ふるさと貢献力	○プレ構想発表会（1年） →大学生・地域人材からのフィードバック ○伝統芸能見学 →見学先との調整
11月	○課題探究発表会（2年）・発表会見学（1年） →課題分析・解決能力、プレゼン力 ○東京フィールドワーク準備（2年） ○研究活動班の始動（1年）	○課題探究発表会 →長崎大生や長崎県立大学生および外部審査委員への評価方法の説明 ○東京フィールドワーク →訪問先との調整
12月	○東京フィールドワーク（2年） ○「地域高校」との連携ミーティング・生徒交流会（2年） ○各研究活動班でのテーマ設定（1年） →課題分析力	○東京フィールドワーク →訪問先との調整 ○「地域高校」との交流会 →連携校との調整、会場との調整 ○必要に応じて外部諸事業所と連携
1月	○1年間の取り組みを振り返るアンケートの実施・ポートフォリオの作成（全体） ○3年間の総括（3年） ○課題探究のまとめ（2年） ○インターンシップ準備（2年） ○班別研究構想発表会準備・フィールドワーク（1年）	○生徒アンケート等 →結果の分析及び管理機関との共有 ○インターンシップ→各事業所との調整 ○班別構想発表準備・フィールドワーク →各事業所との連携
2月	○コンソーシアム会議・運営指導委員会（全体） ○インターンシップ準備（2年） ○班別研究構想発表会準備・フィールドワーク（1年）	○コンソーシアム会議・運営指導委員会 →アンケート等の分析結果に基づき、課題研究活動や事業の検証を行い、次年度の計画を立案 ○インターンシップ→各事業所との調整 ○班別研究構想発表会準備・フィールドワーク →各事業所との連携
3月	○インターンシップ（2年） ○フィールドワーク（1年）	○インターンシップ→各事業所との調整 ○フィールドワーク →各事業所との連携

3-3 事業の進捗状況の定期的な確認や改善計画

地域科学科における事業の進捗を管理するとともに、計画Ⅰ～Ⅲを中心に進める事業の質的な向上を図るため、PDCA サイクルに基づく組織マネジメントを校内外の組織をつなげて推進する。その際、成果指標（アウトカム）設定の考え方等に基づき、事業の成果と課題を検証する。

（1）定期的な確認や改善を図る組織及びその活動内容

- ①校内プロジェクトチームによる地域科学科・活性化ミーティング
 - ・成果目標を踏まえて、研究開発の進捗管理を行い、計画・方法等の改善を図る。
- ②コンソーシアム会議
 - ・定期的なコンソーシアム会議における、松浦高校との連携の内容・方法等に関する意見等を踏まえ、プロジェクトチームが中心となって改善案を検討する。
- ③運営指導委員会による検証・改善
 - ・定期的な運営指導委員会による、成果目標を踏まえた事業の検証及び指導助言等により、プロジェクトチームが中心となって改善案を検討する。

（2）成果指標（アウトカム）設定の考え方

- ①計画Ⅰにおける成果指標
 - ・生徒個々のキャリアプランを踏まえた、進路希望の実現率（％）
- ②計画Ⅱにおける成果指標
 - ・課題研究発表会等において、審査員等から地域活性化への貢献度が高いと認められた研究プロジェクト数の割合（％）
- ③計画Ⅲにおける成果指標
 - ・育成したい資質・能力（課題分析・解決能力、コミュニケーション力、ふるさと貢献力）に関するルーブリック評価規準の5段階の到達度における生徒自己評価の平均値

（3）その他

- ①生徒、保護者、教職員等アンケートの実施
 - ・地域科学科の取組に関する理解度、満足度等のアンケート調査の結果分析に基づき、事業計画の改善を図る。

3-4 成果の普及のための計画

次の（１）～（３）により、成果の普及を図る。

（１）小・中学校及び地域等への成果普及

- ①松浦高校の Web ページ、または SNS 上に専用のカテゴリを作成し、生徒の活動状況を随時更新する。
- ②松浦高校の生徒が、小・中学校を訪問し、児童・生徒向けに課題探究活動の成果を発表する。

（２）県内外の「地域に根ざした高等学校」のネットワーク間の成果共有・成果普及

- ①立命館宇治中学・高等学校の WWL コンソーシアムに２年前から加盟している。また、今年度は、NPO 認定法人カタリバ主催の「学校横断型探究プロジェクト」に参加し、全国の参加校とお互いの活動や成果を発表することで全国レベルの普及につなげる。

（３）教員向けの成果共有・成果普及

- ①実践報告発表会等において地域への貢献度が高いと認められる生徒のプロジェクトを共有するため、ホームページや SNS への掲載・発表動画配信や関係各校への報告書等の送付により、広く情報発信を行う。

3-5 管理機関の役割と実施計画

（１）実施体制や事業の管理方法

本事業の管理・指導・支援は、長崎県教育庁総務課県立学校改革推進室（令和４年度）及び高校教育課（令和５、６年度）が行うこととする。

- ①管理機関は、本事業の運営に関して指導助言に当たる運営指導委員会を設置するとともに、地域課題解決型学習を組織的に支援するコンソーシアムとの連携協力体制を整備する。また、その連携協力が円滑に行われるよう、連絡調整を担うコーディネーターを松浦高校に配置する等、取組の支援を行う。
 - ・運営指導委員会は、学識経験者や行政職員等、専門的見地から指導助言に当たる第三者により組織し、事業の目的・目標を踏まえた地域科学科の研究内容について客観的に検証及び指導助言を行う。
 - ・コンソーシアムは、松浦市、大学、地元企業・経済団体、小・中学校等、豊富な実践と高い見識を持つ方々により構成し、幅広い視点から専門的な指導と助言を受けられる体制を築く。
 - ・コーディネーターには、管理機関、松浦高校、コンソーシアムと将来の地域ビジョン・求める人材像等を共有でき、地域の実情や魅力・課題に深い見識を有する方を指名する。
- ②管理機関は、運営指導委員会と連携しながら、定期的に松浦高校を訪問し、教育課程編成、学校設定科目、カリキュラム・マネジメント、ルーブリックによる評価及び授業改善への指導助言等を行うとともに、コンソーシアムの更なる充実や、「地域に根ざし

た高等学校」ネットワーク構築に向けて必要な支援を行う。そして、進捗状況を把握した上で事業全体を管理し、事業の検証・改善への提案を行う。

- ③地元松浦市や松浦高校と連携しながら各種メディア等における広報活動を行い、地域科学科における教育活動や「資質・能力」について、中学生、保護者、地域住民への周知及び理解促進を図る。また、松浦高校を普通科改革のモデルケースとして、実践報告発表会等を通して他校への普及を図る。

(2) 管理機関における事業全体の成果検証、評価のための体制、考え方

管理機関は、松浦高校、コンソーシアム会議及び運営指導委員会と連携し、事業全体の成果検証及び評価を行う。

①松浦高校と連携した検証・評価

- ・生徒の目標達成度合いについて、管理機関、学びアドバイザー等により評価を行い、取組の成果を検証する。検証した結果は、運営指導委員会に報告する。
- ・広報活動により、地元中学生や保護者に対して、地域科学科の設置目的や、「資質・能力」についての理解促進が図られたかどうかを検証する。

②コンソーシアム会議と連携した検証・評価

- ・探究活動への研究支援及び生徒のキャリア形成への支援の充実に向けた取組の検証及び評価を行う。

③運営指導委員会と連携した検証・評価

- ・コンソーシアム会議等から報告された検証結果も踏まえ、事業全体の成果検証及び評価を行う。
- ・成果検証及び評価の結果について、コンソーシアム会議等に対してフィードバックを行う。
- ・定期的な運営指導委員会による事業の検証及び指導助言等を踏まえ、プロジェクトチームが中心となって改善案を検討し、以後の計画等に反映させるとともに、次回会議でその内容を報告する。

4. 先進的な教育の取組の概要

(1) 松浦高校普通科（令和4年度まで）の特色

- ①松浦高校は、長崎県松浦市内にある唯一の高等学校であり、普通科・商業科の併設校である。
- ②入学者の減少を受けて、平成25年度から、松浦市による、松浦高校の生徒を対象とした就学支援制度が創設された。また、翌26年度には、それまでの普通科に加えて、中学生の多様な進路希望への対応を図るため商業科が併設され、普通科2クラス（定員80名）、商業科1クラス（定員40名）となった。

(2) 地域科学科の導入

- ①令和3年6月に策定した「長崎県立高等学校教育改革第9次実施計画」により、松浦高校のこれまでの取組の成果や国の普通科改革に係る制度改正等を踏まえ、地域や社会の未来を担うリーダーの育成を図るために、現在及び未来の地域社会が有する課題や魅力に着目した科学的・実践的学びに重点的に取り組む地域科学科（地域社会学科）を、令和4年4月から普通科改革として導入した。

(3) 先進的な教育の取組～まつナビ・プロジェクト～

- ①平成29年度から、松浦市と協働して、ふるさとを大切にする姿勢を身に付けることを目指して、松浦高校2年生が地域課題の解決策について調査・考察・発表する教育活動～「まつナビ」～が開始された。
- ②令和元年度までの3年間で取り組んだ「まつナビ」を進化させた新たな地域課題解決型学習が「まつナビ・プロジェクト」であり、令和2年度から令和4年度まで文部科学省委託事業「地域との協働による高等学校教育改革推進事業（地域魅力化型）」の研究指定校となった。

③「まつナビ・プロジェクト」

松浦高校と松浦市が協働で取り組んできた高等学校2年生での地域課題解決型学習「まつナビ」に、1年生での「プレまつナビ」、3年生での「ポストまつナビ」を連動させて、3年間の連続性のある探究学習に進化させたもの。生徒の課題解決能力を高めること等を目指して次のⅠ、Ⅱの研究開発単位を設定し研究開発を実施した。

- Ⅰ 地域を愛し大切にする姿勢の育成と課題解決能力を高めることを目指した、高等学校3年間の地域課題解決型学習を充実させるカリキュラムの研究開発
- Ⅱ コンソーシアムをはじめとする、地域課題解決型学習を組織的に支援する体制についての研究開発

5. 地域科学科

5-1 設置の目的

(1) 学際領域学科又は地域社会学科を設置する高等学校を取り巻く状況の分析、学際領域学科又は地域社会学科を設置する必要性

①松浦高校を取り巻く状況

- ・長崎県は若者の流出や人口減少が著しく、地域を担う人材不足が深刻化している。そのため県内の多くの地域において、高等学校と地元自治体等が協働して地域活性化に資する人材の育成に取り組んでおり、今後その取組をさらに充実させるため、学校間の活動の連携を深めるネットワークづくりを進めることが求められている。
- ・松浦高校は、令和3年度に60周年を迎えた松浦市内にある唯一の高等学校（普通科・商業科設置）であり、地域社会の未来を担う人材の育成が期待されている。
- ・松浦市からは、就学支援制度の創設（平成25年度～）、地域課題解決型学習「まつナビ」への支援（平成29年度～）、文部科学省委託事業「地域との協働による高等学校教育改革推進事業（地域魅力化型）」の研究開発（令和2年度～令和4年度）において、継続的多角的な支援が行われている。
- ・市内中学校の保護者を含む地域の方々からは、自ら学ぶ姿勢を身に付け、基礎学力を高めることで生徒一人ひとりの進路希望の実現を図ることが求められている。特に大学進学に向けた教育活動の充実を望む声が強い。また、生徒一人ひとりが責任ある言動ができるなどの「人間力」の育成や、県内外の高校生との交流を深めたり、部活動の活性化を進めたりすることによる、「活力ある」学校づくりが求められている。

②地域科学科を設置する必要性

- ・松浦高校のこれまでの取組の成果や国の普通科改革に係る制度改正等を踏まえ、地域や社会の未来を担うリーダーの育成を図るために、高等学校が立地する地元自治体を中心とする地域社会から得られる様々な分野の知見を学ぶことにより教養を深め、現在及び未来の地域社会が有する課題や魅力に着目した科学的・実践的学びに重点的に取り組む学科を設置する。
- ・県内の「地域に根ざした高等学校」の先行モデルとして導入し、取組の成果の普及を図る。
- ・地域科学科においては、前述の内容を踏まえ、以下の①～③の取組の推進が必要である。
 - ① 生徒個々のキャリアプランの作成をすすめ、そのプランに基づく進路希望の実現
 - ② 松浦高校と近隣の中学校及び大学等との協働による地域活性化への貢献
 - ③ 県内外の「地域に根ざした高等学校」との連携等による参加高等学校の活性化

(2) 学際領域学科又は地域社会学科における取組の目的・目標（学際領域学科又は地域社会学科における教育を通じて育成を目指す資質・能力を含む）

①目的 地域社会の未来を担うリーダーの育成

～目指す資質・能力の涵養と地域活性化への貢献～

②目標

- ① 生徒個々のキャリアプランに基づく進路希望の実現
- ② 中学校、大学等との協働による地域活性化への貢献
- ③ 県内外の「地域に根ざした高等学校」との連携等による学校活性化

③育成を目指す人物像及び育成を目指す資質・能力（以下、「資質・能力」。㉔～㉞）

- ① 将来の目標を持ち、その実現に向けて努力を続ける人物（キャリア形成力）
㉔「働くこと」に関する情報の取捨選択を含むキャリアプランニング力
㉕自ら学び、行動する力
㉖課題分析・解決能力（課題発見、データ分析、論理的考察、計画性等）
㉗コミュニケーション力（傾聴・対話・プレゼンテーション）
- ② 責任感があり、相手を思いやる言動ができるなど、品性を備えた人物
（㉘責任言動力）
- ③ ふるさを大切に思い、その発展に貢献しようとする意欲を持つ人物
（㉙ふるさと貢献力）

④地域科学科における教育（概要）

「資質・能力」をもとに、次の①～⑤の教育活動の関連性を強める。また、各教育活動のルーブリック評価規準を明示し、生徒が各教育活動における取組の自己評価を行い、その改善を図ることができるようにする（指導と評価の一体化の推進）。

- ① 松高キャリア・プランニング
- ② まつナビ・プロジェクト（「地域高校」ネットワークの構築・協働研究を含む）
- ③ 一人ひとりの生徒のキャリアプランを踏まえた普通教科の学びの充実
- ④ 生徒の自己有能感を高めるための主体的な活動（生徒会活動、ボランティア等）
- ⑤ 生徒の「責任ある言動」を伸ばす活動（部活動等）

⑤「地域との協働による高等学校教育改革推進事業（地域魅力化型）」と並行した取組について

- ・上記「②目標①」では、「地域との協働による高等学校教育改革推進事業」研究開発単位Ⅰにおける「カリキュラムの研究開発」をさらに進め、育成を目指す資質・能力を身に付けさせるための指導と評価を一体的に行うカリキュラム開発を推進する。
- ・上記「②目標②」では、コンソーシアムにも入る長崎大学・長崎県立大学等との連携（大学生との交流も含む）により生徒の学びの充実を図る。また、コーディネーターの設置により松浦市内の中学校との連携も強化し、中学校の「ふるさと教育」と「ま

つナビ・プロジェクト」をつなげる中高連携により教育活動の充実を図る。

- ・上記「②目標3」では、普通科改革に取り組んでいる県内外の高等学校とのネットワーク構築を進め、連携校間の研究開発の共有による教員の資質・能力の向上及び生徒間交流による生徒の資質・能力の向上に取り組んでいく。

5-2 令和6年度における活動の重点項目

(1) 主な教育活動

①松高キャリア・プランニング

- ・「自分の将来」について考え、決断し、その実現に向けた実践につなげる教育活動
- ・ルーブリックによる評価を活用した各教育活動における定期的な自己評価（振り返り）と「松高ポートフォリオ」への記録・検証・取組の改善

②まつナビ・プロジェクト（「地域高校」ネットワークの構築・協働研究を含む）

- ・地域課題探究学習により、「課題分析・解決能力」、「ふるさとを大切にする姿勢」を育成
- ・松浦市、長崎大学、長崎県立大学をはじめとする学校外の組織等との協働
- ・「地域に根ざした高等学校」のネットワークを構築した上で協働研究等を実施

③一人ひとりの生徒のキャリアプランを踏まえた普通教科の学びの充実

- ・生徒一人ひとりのキャリアプランを踏まえ、地域素材を活かした新たな教科・科目の取組
- ・まつナビ・プロジェクトとの関連を深めることなどによって「課題分析・解決能力」等を伸ばす学びの推進

④生徒の自己有能感を高めるための主体的な活動の推進

- ・生徒会が中心となった行事等の企画・運営
- ・生徒有志による校則見直し委員会発足及び主体的なルールメイキング活動
- ・特別活動などにおける生徒の自発的な活動の充実

⑤生徒の「責任ある言動」を伸ばす活動

- ・特別活動等における、生徒相互が「支え合い、伸ばしあう学び」の推進
- ・各部活動で設定した目標に基づく、「人間力」向上に向けた活動の推進

⑥商業科との連携による教科横断的な取組

まつナビ・プロジェクトは、地域科学科と商業科との合同で実施する。地域課題探究学習を進める上で必要な課題分析・解決能力等は商業科の「情報処理」や「マーケティング」等の内容でも取り扱っており、その内容を地域科学科と商業科とが共有することで、教科横断的なカリキュラムの開発にもつなげていく。

(2) コンソーシアム等の関係機関等との連携・協力体制の構築の考え方・方法

①連携・協力体制構築の考え方

コンソーシアムを中心に、まつナビ・プロジェクトでの探究活動や地域の中学生・高校生のキャリア形成力育成につながる取組への支援の充実を図る。また、生徒の多様な探究活動等への助言等が可能な地域の諸団体や人物に支援を依頼するなどして、協力体制の強化を図る。

②連携・協力体制構築における重点項目

【令和4年度】

- ・ふるさと学習を起点とした中高協働学習や、高等学校、大学及び地元企業等の連携（以下、「高大職連携」）によるSDGsを踏まえたまつナビ・プロジェクトの探究活動及び中・高校生のキャリア形成力育成活動への支援の充実を図る。
- ・コンソーシアムによる効果検証等に基づき、校内の「活性化ミーティング」に「学びアドバイザー」や関係機関の担当者に定期的に参加してもらい、持続可能な組織の在り方を含む連携・協力体制の改善を図る。

【令和5年度】

- ・令和4年度の検証及び令和4年度末に創設した「まつうら高校応援団」との連携に基づき、地域との連携・協力体制の充実と生徒の探究活動へのより効果的な支援を進め、連携・協力体制の改善を図る。

【令和6年度】

- ・地域・学校活性化に向けた中高協働学習・高大職連携をはじめとする松浦高校と連携組織等との3年間の取組の検証等による総括、令和7年度以降の連携・協力体制等の在り方について検討する。

5-3 先進的な教育の取組～まつナビ・プロジェクト～

(1) まつナビ・プロジェクトとは

平成 25 年度、松浦市内唯一の高校である松浦高校への入学者の減少などもあり、松浦市による、松浦高校の生徒を対象とした就学支援制度が創設された。当時は 2 年生全員を複数の研究班に分け、松浦市役所職員が班毎のファシリテーターとなり、学年担当教職員とチームを組んで生徒の課題研究を支援する体制で始められた。平成 29 年度からは、松浦市と松浦高校が協働して、学校の魅力を高めることなどを目指した、地域課題の解決策について調査・考察・発表する教育活動が始められた。これが「まつナビ」である。

令和 2 年度からは 3 年間を見通したカリキュラムに変更した。また、同年度から令和 4 年度までの 3 年間、文部省委託事業「地域との協働による高等学校教育改革推進事業（地域魅力化型）」の研究指定校となった。

さらに、令和 4 年度 4 月より新しい普通科である「地域科学科」が開設されると同時に、「新時代に対応した高等学校教育改革推進事業（普通科改革支援事業）」の研究指定校となり、令和 4 年度については、文部科学省の 2 つの事業の指定を受けることになった。

年度	学校改革の動き
H23	○松浦東高等学校閉校（松浦市内の高校が 1 校となる）、創立 50 周年
H25	○生徒数の減少により普通科が 1 学年 4 学級から 3 学級（定員 120 名）に ○松浦市による就学支援制度開始
H26	○商業科を新設し、普通科 2 学級・商業科 1 学級となる（定員 120 名）
H29	○地域課題探究学習「まつナビ」（2 学年の総学での取組）スタート
R2	○文部科学省「地域との協働による高等学校教育改革推進事業」研究指定（～R 4 年度） ※ 3 年間のカリキュラム開発＝「まつナビ・プロジェクト」
R4	○普通科を地域科学科に改編 ○文部科学省「新時代に対応した高等学校教育改革推進事業（普通科改革支援事業）」研究指定（～R 6 年度）
R6	○文部科学省「高等学校等デジタル人材育成支援事業費補助金（高等学校 DX 加速化推進事業）」採択

(2) 年間実施内容

以下の表は、本事業対象の地域科学科1～3年生におけるまつナビ・プロジェクトの年間実施内容である。

事業項目	実施日程（令和6年4月1日～令和7年3月31日）											
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
カリキュラムや教育方法等の検討・開発・実施												
カリキュラム開発会議 （活性化ミーティング）	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
外部講師による講座		●	●	●		●	●	●				●
フィールドワーク	●	●	●	●	●	●				●		●
産業能率大学 主体的／協働 的学習者育成プログラム		●					●	●				
関係機関との連携協力体制の構築・維持												
運営指導委員会		●									●	
コンソーシアム会議		●									●	
先進校視察／学校訪問(来校)			●		●	●	●		●	●	●	
松浦市との意見交換会	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
コーディネーター												
コーディネーター大内康仁氏	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
コーディネーター馬庭亜由氏	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
新学科設置に向けた説明会等の実施												
説明会（中学生・保護者）			●	●	●							
オープンスクール				●				●				
成果発表・成果普及												
構想・中間・最終発表			●				●				●	
県の研究報告会における成果普及											●	
連携校との生徒間交流会(「カタリバ学校横断型探究」含む)							●	●	●		●	
SNS や HP での情報発信	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
成果検証												
高校魅力化評価システム						●		●				
校内(独自)アンケート調査										●		

*実際の活動については、「第2章」で説明する。

第2章 事業の内容（実施計画Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ）

1. 実施計画Ⅰ

1-1 活動目標

生徒個々のキャリアプランに基づく進路希望の実現

1-2 実施計画

生徒の自己有能感を高める教育活動と学習評価を一体的に行うカリキュラムの研究開発

1-3 1年生の活動実績

（1）探究性を高めるための活動【実施計画Ⅰ】

①データ研修会

○日時：令和6年5月15日（水）14:00～15:40

○目的：データやものの価値の見方について学ぶ。

○内容：まっナビ・プロジェクトにおける探究スキル向上のための「さまざまなデータの見方やそれを活用するための研修」

○講師：長崎県教育庁高校教育課 指導主事 長尾 和弘 様



■データ研修会

②松浦再発見研修会（松浦市）

○日時：令和6年5月29日（水）12:55～14:45

○目的：松浦市で活躍する方々に直接話を聞くことで、松浦の企業への興味・関心を高める。また、課題研究テーマ設定を行うためのテーマ設定力を身につける。

○内容：令和4年3月に設立された、「まっうら高校応援団」のうち9事業者に参加してもらいブース形式の講演会を行った。

○講師：近江鍛工、法知園、エミネントスラックス、エンマキグループ/西日本魚市、中興化成工業、住商エアバッグシステムズ、九州電力、みやだデザイン合同会社、九州液化瓦斯福島基地(株)



■松浦再発見研修会

③『まつうら仕事図鑑』

○日程：令和6年度6月～

○目的：・仕事に対する理解を深め、自らのキャリアプランニングの一助とする。

- ・地域の方々へのインタビューを通して、コミュニケーション力を身に付ける
- ・地域課題を発見し、調べることで、課題研究のテーマ設定力を高める。
- ・将来は松浦に貢献したいという気持ちを醸成し、将来的なふるさと貢献力を高める。

○内容：1年生が、グループごとに松浦市で働くの方々へのインタビューを行い、仕事の魅力や働く意味などをまとめた冊子を作成する。

■スケジュール

	日付	内容	目的や留意事項
1	4～5月	前年度の仕事図鑑配布 作成する成果物のイメージを膨らませる。	前年度にインタビューした事業所は対象から外す。
2	6/26 (水)	仕事図鑑スタートアップ講座 松浦市やまつうら高校応援団などから講演いただくことで、これまで知らなかった地域を知り、インタビュー先の候補が広がった。その中から3～4名の班単位でインタビュー先を決定する。	各クラスで分かれた班でインタビュー先を検討。担当教諭とも面談を重ねて、訪問先を決定する。
3	7/3 (水)	写真の撮り方講座／記事の書き方講座 地元の写真のスペシャリストを招いて、写真の撮り方講座を行う。写真は一人一台配布されているタブレット PC で撮影する。記事は長崎新聞社の記者による講座を行う。	これからの活動で疑問や不安なことをまとめておき、質疑応答の時間には、積極的に手をあげる。
4	7月上旬 ～中旬	アポイント取り 最初は各クラスの担任・副担任で趣旨・内容説明と7月23日の取材が可能かのアポイント取りを行う。	趣旨説明はしっかり生徒へ行う。依頼文書の送付先(担当者? 責任者? 代表者?)を訪ねておく。
5	7/17 (水)	取材計画／模擬インタビュー 何を聞いてどのようにまとめるかを班で考え、インタビューや写真係、記録などの係を決めて、実際に各班の担当教員を前に模擬インタビューを行う。	班員で、交代で役割のロールプレイングを行ってみる。その後役割分担を決める。
6	直前	リハーサル 各班でリハーサルを進める。	担当教員をモデルにリハーサルを行い、記録や写真の撮り方などを研究する。
7	7/23 (火)	一斉取材 インタビュー開始10分前までには、現地でスタンバイを済ませる。①バインダー ②筆記用具 ③タブレット ④名札 ⑤インタビューシートを忘れずにもっていく。	引率なしで生徒(班員)のみの活動になる場合もあるので、しっかり挨拶をして、和やかな雰囲気をつくる。
8	7月下旬 ～ 9月中旬	まつうら高校応援団による支援 応援団に入っている事業所のうち、記事をまとめたり、レイアウトを考えるプロフェッショナル(専門家)に生徒の活動に入ってもらいなど、アドバイスをもらいながら、校正をすすめる。	来校していただける日は後日連絡する。ここまでで困っていることや不安に思っていることをまとめておく。
9	9/18 (水)	原稿提出 夏休み期間中に Microsoft teams でやり取りを進め、原稿をこの日に提出する。	夏休み中に、応援団のアドバイザーに相談に行ってもよい(必ず担当教員の許可を得ること)
10	2月末	成果物完成 地域のデザイン専門会社にデザインを委託し、成果物として完成させる。	地域の実情を踏まえた視点からのアドバイスを取り入れ、修正していく。



■7月23日一斉インタビュー

(2) 主に主体性を高めるための活動【実施計画Ⅰ】

①外部講師によるワークショップ

産業能率大学による研修会

○日時：令和6年5月20日（月）主体的学習者育成プログラム

令和6年10月28日（月）協働的学習者育成プログラム

○目的：これから課題研究テーマ設定を行う1年生が課題や研究テーマの見つけ方を学び、その後の探究を進めるためのスキルアップを図る。

○内容：主体的学習者育成プログラム

世の中の事象を、問題意識をもって観察し、観察によって得られた事実を多様な視点から解釈する活動を体験する。

協働的学習者育成プログラム

多様な背景や価値観をもつ人々と関係を構築する力や支援・援助する力、情報や考え方を共有する力などを身につける。

○対象：1年生向け

○講師：産業能率大学経営学部 杉田一真 教授



■杉田教授による講義



■ワークショップ

②プレ構想発表会（仮テーマ設定）

○日時：令和6年10月16日（水）14:05～15:40

○目的：これから本格的にはじまる課題研究テーマ設定について、現時点で生徒が考える研究の対象・目的・方法等について確認する機会とする。また協働して研究する仲間づくりを生徒自身が行っていくための一助とする。

○対象：1年生



■プレ構想発表会①



■プレ構想発表会②

■今年のプレ構想発表会テーマ

Ｕターンする人を増やそう！、子育てがしやすい松浦へ、松浦の人口を増やそう、古民家・空き家を活用した人口増加、空き家を使った観光スポット、環境汚染、イベントで地域を盛り上げよう、廃校をみんなが遊べる場所に、～空き家を減らすために～、保湿クリームを作ろう！、ボディスクラブ、(ボディオイル)の作成、松浦市の植物や果物を使って保湿クリームをつくろう、一番焼けない日焼け止め、動物について、いろんな動物の過ごし方の違い、動物の良さを伝える、犬について、猫の一日の過ごし方、猫に癒されよう、異文化交流の楽しさを伝える！、松浦の伝承を伝える、長崎から見た日本史、「言葉」を追う、松浦の事を漫画にしてみよう、松浦 pop-music、project、松浦の高齢者の方々の生活をもっと豊かなものにしたい！、SDGs ペットボトル再利用、四季折々の散歩道：季節を感じる散策、豊かな海を守る、海のごみを少しずつ減らそう！、「モケケ」で松浦をPRしよう！、松浦キューアールコードプロジェクト、松浦の観光スポットをたくさんの人に知ってもらい、観光客をふやそう！松浦にグランピング施設を作る、カフェ巡りマップ、松浦に花見スポットを作り、地域活性化につなげよう！、遊園地をつくる、地域コミュニティの活性化、子供たちを救おう、まつうらキティをつくろう、アジフライだけではない！松高生＆市の製菓店で商品開発！！、松浦に観光客を増やそう(アジフライクレープ)、松浦産のフルーツジャム、松浦市の果物や野菜を使ったスムージーを開発して販売するパッションフルーツを広める、なぎなたでまちを盛り上げよう、新商品開発、松浦の魅力を発信しよう！、いろんな会社の方々と協力してコラボ商品を作るそして、活動をいろんな人に知ってもらう、松浦をアジフライ以外のものでも有名にする、松浦の水産業について知ろう、保護ねこカフェ、★マツスタコロボカフェ★、芸能人と一緒に松浦のことに知ろう！、松浦市の海を美しくする、スポーツで松浦を盛り上げよう、保護猫カフェ、松浦の自然を活かして観光地を作ろう、アーティストを呼ぶ、学校で映画を見たい、アーティストを呼ぶ、松浦でいろいろなイベントを開きたい、ゲームを使ってイベントを開く、美術をもっと身近に、反射材で子供たちを守ろう、知ってほしい"1g のエネルギー"と活用方法、松浦にショッピングモールを建てよう！、松浦市のことを広めよう、落語の楽しさを広めたい！！

(3) 主に協働性を高める活動【実施計画Ⅰ】

①班別構想発表会（テーマ設定）

○日時：令和7年3月5日（水）

14:00～15:40

○目的：地域課題解決に向けての構想を発表することにより、プレゼンテーション能力の向上や今後の活動の改善を目指す。

○内容：パワーポイントを用いたプレゼンテーションとし、1班につき2分程度で発表する。

＊1班1～6人で編成

○対象：1年生

長崎県立松浦高校1年生
課題探究構想発表会
 令和7年3月5日（水）
 14:00～15:40
 ◎コモンホール

目的
 今後の班別活動についての方向性を確かめるために指導助言を専門家にいただく

内容
 パワーポイント発表各班2分
 質問・移動

1班 少子高齢化
2班 空き家
3班 つばき油を使って日焼け止めをつくろう
4班 野良猫問題を解決しよう
5班 長崎に迫れ！

6班 ごみをリサイクル
7 A班 観光
7 B班 まつモケ
8 A班 まつドリー焼きを通して学校をPR
8 B班 お茶漬け開発

指導助言
 よろしくお願ひします
 長崎大 藤井佑介先生

講義 3月19日(水)
 発表振り返り＆プレゼン研修会
 長崎総合科学大 藤原 章先生

8 C班 肥料をつくろう
9 A班 運営&キッチンカー
9 B班 イベント誘致
9 C班 芸能人を呼んでフェスをひらこう
10班 松浦もっと明るくする

■課題研究テーマ一覧（1年生）

班	タイトル
01班	MATSUURA CF PROJECT
02班	空き家
03班	つばき油を使って日焼け止めをつくろう
04班	野良猫問題を解決しよう
05班	長崎に迫れ！
06班	ごみをリサイクル
07A班	観光
07B班	まつモケ
08A班	まっどリー焼きを通して学校をPR
08B班	お茶漬け開発
08C班	肥料をつくろう
09A班	運営&キッチンカー
09B班	イベント誘致
09C班	芸能人を呼んでフェスをひらこう
10班	松浦をもっと明るくする



■MATSUURA CF PROJECT



■ごみをリサイクル

○今年度は、生徒一人ひとりのマイプロジェクトを大切にするために、1人での活動も可とした。

○担当教員と生徒で協議をした後、12月の1カ月間是他班への「移動」も可とした。

1-4 2年生の活動実績

(1) 主に協働性・社会性を高める活動【実施計画I】

①中間発表会

○日時：令和6年6月19日（水） 14:00～15:40

○目的：地域課題解決に向けた研究について、進捗状況を発表することで、生徒自ら研究の対象・目的・方法等について確認する機会とする。また、今後の課題研究について専門家からアドバイスを受けることで研究の方向性を確かめる。さらに、全体の前で発表することで、校内発表および課題研究発表会に向けてよりよい発表のしかたを身につける。

○内容：各班で発表・質疑応答・移動を含めた10分間のポスターセッションを8回繰り返す。なお、その間、班員は交代で他班の発表を聞きに行く。

○対象：2年生

■テーマ一覧

班番号	テーマ	課題	内容
02	水産業を盛り上げよう！	松浦市の漁業従事者の減少 アジ以外の魚の知名度が低い	おさかな祭りでのハンバーガー販売
03	松浦市をきれいに	松浦市のゴミ問題	松浦市のゴミ問題を松浦の子ども達に知ってもらい再利用の道を考える。
04	完璧なアジフライの聖地を目指して	アジのウロコが大量廃棄されている	アジのうろこからコラーゲンを抽出し、製品を作る
05A	松浦のお茶を使って甘いものを作り、地域を盛り上げよう。	松浦のお茶について知っている人が少ない	松浦のお茶を PR するために甘いものを作る。
05B	松浦 PR 計画	人手不足	ホットホットカフェとコラボ チョコバナナクレープのパッケージ製作 松浦の企業を PR するポスター作成
06	あらゆる人のための町づくり	防災意識 災害対応力	防災ベンチ 自主防災組織 防災教室
07	ひろがる「輪」	障がいを持った方々との交流の機会が少ない	簡単な手話を覚える。 聴覚障がい者の方々が困っていることを聞いて 解決に向けてお手伝いする 発表会で発表することで多くの人に知ってもらう
08A	他校生と交流しよう	松高の知名度 UP 他校生とのコミュニケーション	知名度 UP と他校生とのコミュニケーション力を上げるためにポスター作成を通して他校生と交流する。
08B	フードフェスタ	松高の文化祭をもっと盛り上げたい	文化祭にキッチンカーを呼ぶ
08C	想いよとどけ	地域のイベントが少ない	後夜祭 イルミネーション ランタンのな?? キャンプファイアー 募金活動
10	4ippo supporter	動物保護	里親がみつからない猫・犬の里親探し
11A	Homepage innovation	松高の知名度 UP	松高の HP を追加する
11B	SNS を使って松高知名度 UP	松高の知名度 UP	インスタグラムで松浦高校を紹介する
11C	民話のアニメ化	民話を親しみやすいものにする	民話をアニメにする。



■中間発表会①



■中間発表会②

■生徒による中間発表会振り返り（ベネッセ／クラッシー「ポートフォリオ」）

今日までの自分たちの活動を発表してみてもっと発表練習をすればよかったと後悔が残っている。どの班もあまり原稿を見ておらず発表していたので、すごいなと思った。他にも、質問応答と同じ班のYさんが主にしてくれたので、とても助かった。私は何もできず情けないと思った。これからは、ウロコやそれを使った実験について私の考えや思いを言語化できるようにまず状況を自分たちで理解しまとめる活動を、まつナビの時間の中で実践していこうと思う。

聞き手の方々からの質問が同じだったことが多く、これがポスターや説明の中に足りない部分と知ることができたので、その質問に対する答えをポスターや原稿の内容に入れようと思う。

どの班も写真をうまく使っており、質問に対する答えもわかりやすくお手本にしようと思った。色々な班の発表を聞けて学びになることが多く、とても良い機会だったと思う。（2年生Yさん）

②課題探究発表会

○日時：令和6年10月23日（水） 12:30～15:55

○目的：「まつナビ・プロジェクト」の実践活動について、地域の方々へ生徒が主体的に地域課題について考え、実践した成果を発表し、周知をはかる。

○場所：松浦市文化会館 ゆめホール（長崎県松浦市志佐町浦免1110）

○日程

12:30～12:35 開会行事 校長挨拶

12:35～14:00 前半7班（発表5分＋質疑応答5分＋交代2分）

14:00～14:15 休憩

14:15～15:30 後半7班（発表5分＋質疑応答5分＋交代2分）

15:30～15:40 小浜高校発表

15:40～15:55 閉会行事（生徒代表）

講評 長崎県立大学 地域創造学部 バロリ・ブレンディ 先生

表彰 舟越校長



■課題探究発表会

松浦高校2年生による
まつナビ・プロジェクト
課題探究発表会
in 松浦市文化会館

本校では文部科学省から「新時代に対応した高等
学校改革推進事業（普通科支援事業）」の指定を受け、
松浦市をはじめとするコンソーシアム等の協力を得て、
ながら、「まつナビ・プロジェクト」を実施しています。
その一環として、2年生による発表発表会を行います。

わたしたちが大切にしていること
（卒業までに身に付けたい力）

- 健康増進・収束力
- プレゼンテーション力
- テーマ設定力
- 課題発見力
- コミュニケーション力
- 論理的思考力
- キャリア形成力
- ふるさと貢献力

発表内容
水産物を盛り上げよう
松浦をきれいに
完璧なアジフライの聖地を目指して
松浦PR計画
あらゆる人のためのまちづくり
など13プロジェクトによる発表

日時
10月23日（水）
12:30～15:55

場所
松浦文化会館
松浦市志佐町浦免1110番地

日程
12:30～12:40 開会行事
12:40～13:59 前半7班発表
14:15～15:39 後半7班発表
15:40～15:55 閉会行事

担当
長崎県立松浦高等学校
〒859-4501 松浦市志佐町浦免738-1
0956-72-0142

申込QRコード

③発表会を円滑に運営するために

【実施前】

- ☐あらかじめ「年間計画」に位置付けておく（まつナビの活動全般、年間スケジュール）
- ☐審査員の選定、依頼 ☐会場（松浦市文化会館）の確保

【実施前日まで】

- ☐実施要項を作成 ☐他校・保護者・地域向けへの案内文書を作成
- ☐教員の係分担 ☐掲示物の準備（座席表など） ☐ポスター／スライド作成
- ☐参加者名簿の作成 ☐パンフレットの作成・印刷（時程、発表順決定後）
- ☐審査員の評価シートの作成 ☐生徒振り返りの準備（Classi or スタサブ）
- ☐賞状の準備 ☐進行表の準備 ☐必要機材の準備・動作確認
- ☐生徒の発表順決定 ☐生徒役割分担（司会、マイク、受付、生徒代表挨拶など）

【実施当日】

- ☐機材の設置 ☐掲示物 ☐端末の動作確認
- ☐録画（3カ所 ステージ両脇、客席後方） ☐外部の誘導、お茶の準備

■令和6年度課題探究発表会 外部・教員向け事後アンケート

1. 発表会の満足度について

- ア. 非常によかった 16名
- イ. よかった 2名
- ウ. 悪かった 0名
- エ. 非常に悪かった 0名

2. 質問「1」の理由

- 高校生の考え方を知れた事と、凄く刺激を受けました。この取り組みは松浦を支える人材教育の一つになると思いました。
- フィールドワークの範囲や質が、私が勤務していたころよりもバージョンアップしていて、素晴らしい発表でした！
- 生徒様の熱心な取り組みを知ることが出来て良かったです。
 - ・全生徒がステージで発表したこと。
 - ・他校（長崎県立小浜高校）からの参加があったこと
 - ・地域の関係者の参加およびアドバイスがあったこと
- 一般に地域コミュニティが防災組織を作りますが、学校が市の防災組織となるユニークな例でした。地域科学科というスタンスができてきていると強く感じました。
- 生徒の発表も、やらされている感じのない、生徒の興味・関心に沿った研究が行われていることが伝わってくる素敵な内容でした。

3. 全体の運営について

- 会場から質問が出やすくなる工夫があるとより良くなると感じました。審査員に招待者のリストを渡しておく、指名しやすくなり、より会場全体で発表者を盛り上げる雰囲気をつくれるのではと思います。
- 配付資料に、生徒氏名・学科、発表内容のアブストラクトがあると、発表を聞きやすかったです。
- 終わった後にこのアンケートを行って、しっかり検証されているのが素晴らしいと思います。ありがとうございます！
- 3年生で進路確定している生徒も聴かせてはいかがでしょうか。
- 質疑応答を引き出す工夫や司会からの働きかけが必要であったと感じた。

4. 生徒の発表内容・研究のプロセス等について

- 発表については口を挟めないほど良かったと思います。発表内容にも内容の差が合って評価し易かったのかなと思います。
- 課題設定の前に地域ヒアリングや意見交換のような場があっても良いかと思いました。そうすることで、生徒さんがより広い選択肢から課題を設定でき、探究も深まるのではと思います。

5. 「まつナビ」の取組をより良いものにするために

- 松浦や佐世保での発表ではもったいないぐらい、とてもクオリティーの高い発表がたくさんあったので、県内を越えて、県外での発表もできるのではないかとおもいました。
- 松浦高校の先生方の熱心な取組に、頭が下がります。この取組が、各教科との往還につながり、先生方も生徒も授業への取組の変容（進化）に繋がればいいなと思いました。また、校長先生のお話にもありました

が、コンテスト等への積極的な参加を期待します。教員が異動になっても、取り組みが継続され、またさらに改善される組織体制づくりが大事であると感じました。これまで、ご指導にあたられた先生方、お疲れ様でした。

6. アンケート結果より

- 引き続き、生徒の興味関心を大切に、時間をかけてテーマ設定を行う。
- 結果だけではなく、プロセス（軌道修正や失敗から学んだこと）もまとめさせる。
- 質問者に対してしっかり回答できる練習も積む（想定される質問について事前に考える）。
- 初めて聞く参加者にわかりやすいアブストラクト（発表概要）を用意する。
- 中学生や進路が決定した3年生にも見せることを検討する。
- 司会者の役割について事前指導をしっかりと行う。
- 活動の継続性について考える（後輩へのつなぎ）。
- プレゼンの知識・技能を高める取組が必要。
- 外部コンテストなどへの積極的な参加。
- 「まつナビ・プロジェクト」の地域内外へのアピール。
- キャリア形成につながる活動に。

■生徒による課題探究発表会振り返り（ベネッセ／クラッシー「ポートフォリオ」）

設問1 本日の発表会について、会場の方からもらったアドバイスを入力しましょう

災害という観点から何の災害を想定しているのかなど明確にする
行動力がすごいから継続してほしい
誰に引き継ぐのか、もし決まってない場合は1年生に声をかける

設問2 本日の発表会について、うまくいったことを入力しましょう

原稿を見ずにすらすら言えたことがとても良かったです。今まで一生懸命練習を重ねてきてよかったと心から思いました。また、質疑応答もしっかり班の子が出来ていてとても勉強になりました。

設問3 本日の発表会についてうまくいかなかったことを入力しましょう

防災ベンチに座ってもらうときに1人しか座ってもらえなかったので「複数人でもどうぞ！」と声をかけることで小浜高校の生徒さんや地域の方々に座っていただけたと思いました。

設問4 全体を通しての感想を入力しましょう

一言でいうと心から悔しいです。今まで1位を目指して活動してきたので今は悔しいと思っていますが時間が経つにつれてとてもいい時間だったと感じています。防災ベンチが最初は完成すると正直思ってもいなかったです。また移動式の防災ベンチというのはインターネットで調べても出てこない状況だったので不安の方が大きかったですがたくさんご協力していただいたため、ここまで作ることができたと改めて思いました。また、自主防災組織を立ち上げられたことが何よりもうれしかったです。高知県の次に設立できたのではないかと思います。また、勉強会にも参加させていただくことで自分自身も防災に対する知識が向上しました。私はこの知識を松浦高校生に身につけてほしいと思いました。バロリ先生がおっしゃられたように、ここからが始まりなので、これからも頑張っていきたいです。

設問5 あなたの班名とテーマを入力しましょう

6班 あらゆる人のためのまちづくり（高校生自主防災組織）

④長崎県次期総合計画策定意見交換会

○日時：令和7年3月5日（水） 14：00～15：40

○目的：現在の「長崎県総合計画 チェンジ&チャレンジ 2025」は令和7年度の終期を迎えることから、長崎県では令和8年度以降の本県の県政運営の方針や考え方を示した新たな総合計画の策定を進めている。この計画策定にあたり、次代を担う若者の視点における意識や意見を参考にするために、本校生と意見交換を行うことを目的とする。

○場所：松浦高校 図書館

○日程

<導入>

14:00～14:05 授業導入・挨拶

<総合計画説明>

14:05～14:20 県の現状、総合計画概要説明

<グループワーク>※ワークショップ形式

14:20～14:30 各班において県職員自己紹介

ワーク①「長崎の強み・弱み」

14:30～14:40 ワーク②「長崎の将来像」

14:40～14:50 一休憩

15:00～15:10 ワーク③「長崎県の課題」

15:10～15:20 ワーク④将来像の実現に向けてできることを考える

<各班から発表>

15:20～15:40 各班より代表で1名発表（3分×6班）

15:40～ 講評



■ワークショップ



**長崎県次期
総合計画策定
意見交換会**

令和7年3月5日（水）14：00～
場所：松浦高校 図書館

14:00～開会 & ご挨拶

14:05～ワークショップ
長崎の強み・弱み、将来像など

将来像の実現に向けて
15:10～意見発表 & 振り返り

長崎県 & 松高地域科学科2年生

(2) 主に主体性・自己認識を高める活動【実施計画Ⅰ】

①進路別探究活動

生徒一人ひとりのキャリア形成により直結した探究活動ができるように、令和4年度に引き続き、今年度2年生3学期から3年生にかけて年間計画に取り入れた。活動内容としては、医療職希望者と松浦中央病院等との連携や保育士志望者と幼稚園・保育園及び小学校との連携がある。また、「まつナビ」の継続活動も可とした。

■進路別探究活動

		大学志望	短大・専門学校志望	就職志望
2年	1月	大学調べ	学校調べ	求人票の見方
	2月	インターンシップ準備		
	3月	長崎県次期総合計画意見交換会 インターンシップ		インターンシップ
3年	4月	大学調べ	学校調べ	就職調べ
	5月	松浦中央病院との 連携／高大連携講座	松浦中央病院との 連携／高大連携講座	サイバーセキュリティ ボランティア準備
	6月			
	7月	三者面談 オープンキャンパス	三者面談 オープンキャンパス	三者面談 企業説明会・訪問
	8月	オープンキャンパス 乳幼児ふれあい体験（松浦市）		履歴書・面接練習
	9月	推薦／総合型選抜準備	推薦入試準備	就職試験
	10月	面接・小論文	推薦入試	長崎県警委託事業
	11月	推薦・総合型選抜入試	ふるさと恩返し探究	サイバーセキュリティ ボランティア
	12月	合格発表		

②キャリアアップデー【令和7年2月14日（金）実施】

2年生のキャリア形成の一助となる取り組みとして、以下のとおり、企業訪問を行った。

	10:00～11:30【午前】	13:00～14:00【午後】
事業所名	ハウステンボス株式会社	双葉産業株式会社
訪問内容	販売・接客・ホテル等の見学・説明	工場見学・説明等
対象	地域科学科生徒3名及び商業科生徒25名、引率教員2名 計30名	
交通手段	バス1台	